

姿なき天才橘逸勢顕彰会主催 ワークショップ

橘逸勢の書を書こう

日本三筆の一人であり、袋井にゆかりを持つという説がある平安時代の人物橘逸勢が筆者と伝えられる「伊都内親王願文」から、書の技法を学ぶワークショップです。

会場では、「三筆の書」（複製）や、講師 大杉弘子氏の作品を展示します。

日 時 12月7日（日）

13：00～14：30／14：30～16：00

場 所 月見の里学遊館 文字・文のワークショップルーム
（袋井市上山梨4丁目3番地の7）

対 象 小学生～一般市民

定 員 1回10名ずつ（柔軟に対応いたします）

参加料 1,000円（用紙等材料費）

色紙に書いてお持ち帰りいただけます。

講 師 大杉弘子 氏

現代書家。磐田南高校、東京学芸大学書道科卒。昭和の三筆・手島右卿に師事。文化庁特別派遣在外研修員、静岡県文化奨励賞・川村賞受賞。ベルリン・マイセン・デュッセルドルフ・チューリッヒ・ロンドン・ソウル・代官山等で個展、ワークショップを多数開催。JAA 日本美術家連盟会員・IAA 国際美術家連盟会員・I.A.A. UNESCO。